

## 自信の持てる科目つくろう

朝小リポーターが聞く



ノーベル化学賞に選ばれた吉野彰さん＝どちらも10月28日、東京都千代田区の旭化成本社、近藤理恵撮影

### ノーベル化学賞 吉野彰さん

今年のノーベル化学賞が贈られることが決まった旭化成名誉フェローの吉野彰さんに、朝小リポーターの竹田康亮さん(東京都荒川区立第三瑞光小5年)と朝日中高生新聞の読者がインタビューしました。科学者になる秘訣は「だれにも負けない科目を一つつくること」とアドバイスします。(寺村貴彰)

### 勉強は目標じゃなく手段

吉野さんの受賞理由は、リチウムイオン電池の開発です。小型になった電池はスマートフォンやゲーム機などに使われ、それまでの世界を大きく変えたことが評価されました。昆虫学者になりたい

竹田さんは、研究を続ける秘訣を聞きました。  
Q (竹田さんたちの質問) あきらめずに夢を実現するためにどうしたらいいですか。  
A (吉野さんの答え) 好奇心を持ち続けて、

研究のテーマはどうやって見つけますか?  
A 二つやり方があります。自分の関心があることを研究し、何かの役に立つようにするのが一つ。もう一つは逆で、世

とを実現させる方法です。まだだれも気がついておらず、技術さえあれば確実に見つかるテーマがあれば理想的です。  
Q テーマを決めたら、次の一歩は?  
A 第一歩は、必ずしも正しくなくていいんです。ひらめいて10分後におかしいと思ってもいい。それをくり返して、本物のスタートになります。リチウムイオン電池の開発も、ひらめきから考えたら100万回くらいくり返しています。元

### 壁にぶつかったら喜べ ゴール近づくと考える



竹田康亮さん(左)の質問に笑顔で答える吉野彰さん

談ぬきですね。  
Q 先生は小学生の時に化学に興味を持ったと聞きました。それからどんな勉強をしましたか?  
A 関心を持つと得意科目になるよね。勉強するといふより、理科が楽しみになっていきました。先生や親から「勉強しなさい」と言われても、絶対勉強にならんと思っよ(笑い)。

Q 研究をする上でいろいろな壁があったと思えます。どうやって乗り越えましたか?  
A 壁というのは、ゴールに近づいたにすぎません。壁が来たらよくなります。壁が来たらそれだけゴールに近づいたと思えるべきなんです。壁だっ

でも、問題集を一問ずつ解いていったら、次の問題も大体わかってくるんだよね。苦手な時こそ適当にすませず、ていねいに対応した方が乗りこえやすいと思います。  
Q 先生のような科学者になるため、今やっておいた方がいいことは?  
A 一つでいいから、絶対に自信の持てる科目をつくることだね。苦手な教科っていうのは、ちゃんと努力すれば後から追いついてくる。自分の得意な科目を見つけて、それを徹底的に伸ばしていったらいい。